

学校 教育 目標	○柔軟な見方考え方をもち、好奇心豊かに学び続ける子を育てます。(知)							
	○自他の良さに気づき、思いやりの気持ちをもつ子を育てます。(徳)							
○豊かな心と健やかな体をもち、命を大切にすることを育てます。(体)								
○自分の行動に責任をもち、地域とともに生きる子を育てます。(公)								
○自分の気持ちを素直に表現し、様々な社会の変化に対応できる子を育てます。(開)								
学校 概要	創立 41 周年	学校長	皆川 誠	副校長	佐藤 朋実	2 学期制	一般学級: 12	個別支援学級: 3
	児童生徒数: 383 人		主な関係校: 金沢中学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	金沢中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <言語能力>	金沢中学校 金沢小学校 八景小学校 文庫小学校 釜利谷東小学校	課題解決のために協力する子ども 他人を思いやり、地域社会に貢献しようとする子ども ----- ・社会性や協働性、課題解決能力やコミュニケーション能力を高めるために、地域や社会、自然等と触れあう豊かな体験を通じて、様々な人々と関わりながら、探究的な学習を行う。 ・社会で働いている人々や行われていることの本質に触れたり、働くことの意義や喜びを感じたりできるように職場体験や職場見学を行う。

中期 取組 目標	○子ども一人ひとりを大切に、互いを認め合える人づくりを進めます。 ・主体的に取り組むことができるような学習過程を工夫し、学習の楽しさやその達成感を十分に味わわせます。 ・気持ちのよい挨拶を通して互いを尊重し合う意識を高め、安心して楽しい学校生活を送れるようにします。 ・心と体の健康を意識し、健康的な生活習慣が形成できるようにします。 ・まちの「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①自分の思いや考えをもち、相手を意識し、伝え合える表現力を身に付けさせる。 ②繰り返しの指導を重視し、基礎学力を身に付け、確かな学力の向上を目指す。
担当 教務部	
豊かな心	①多様で創造的な学級学年ブロック経営を推奨し、夢中になって活動に取り組む子どもの育成をめざす。 ②「特別の教科道徳」を、子どもを見取り、心を育てるツールの一つとして活用し、評価を保護者と共有し、活用を図る。
担当 道徳部	
健やかな体	①体力づくりとともに仲間づくりを推進し、体と心の健康の保持・増進・向上をめざす。 ②仲間とともに楽しく運動し、バランスのよい体力づくりに取り組む。 ③人や自然とふれあひながら体を動かすことを通して、自分のよさ・様々な人やもののよさをとらえるようにする。
担当 体育部	
児童生徒指導	①学年・ブロック・級外など、多くの目で多面的に子どもを見とり、打ち合わせなどで情報を共有する。ブロック研究会では、児童指導に関わる事案をとりあげ対応を確認する。 ②いじめなどの問題行動に対して、組織的対応と初期対応を日常化する。普段から保護者と連携を図り、共に子どもを育てていくという姿勢を示していく。
担当 児童指導部	
特別支援教育	①一般学級における効果的な特別支援の学校体制の在り方について研究を深めより良い体制をつくる。 ②個別の指導計画を子ども・保護者の思いや願いを取り入れながら作成し、年6回の特別支援教育全体会で共通理解をはかり、加筆・修正・活用を進めていく。
担当 特別支援委員会	
安全管理	①年間の避難訓練を段階的に実施する。その際、指導内容と振り返り(職員・児童)を大切にしながら、危機対応力を高めていく。必要に応じて、関係各機関にも協力を仰ぎながら実践的な訓練になるよう計画・運営していく。 ②大規模災害の発生を予測することが難しいことと、様々な状況が想定されることを保護者に周知し、防災意識を高めるとともに、学校・家庭・地域の防災体制の共通理解を図る。
担当 安全部	
学校運営協議会	①学校運営協議会の役割と意義について、全委員で共有する。 ②年間の4回の協議会を通して、学校経営方針に対する理解を得るとともに、地域との連携を深める。
担当 総務部	
担当	
いじめへの対応	YPやいじめアンケートの実施により、子どもの内面をとらえる。学年担任制などにより、複数の目で子どもを見つめるとともに、ブロック会議や打ち合わせでは、児童理解に関する時間を確保し、情報を共有する。事案が発生した際には、複数名による聴き取りや事実の確認と記録など手厚い初期対応を徹底する。
担当 児童指導部	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①メンター会を定期的に関き、職員同士が互いに学びあう場にしていく。 ②学年・ブロック研を通して、児童理解や学習・行事等への取組についての共通理解を図る。 ③組織や会議の効率化を図り、速やかな情報共有に努め、円滑な学校運営を行う。
担当 総務部	